

令和8年9月8日

世田谷区教育委員会
教育長 知久 孝之 様

世田谷区立小学校PTA連合協議会
会 長 佐野 岳

令和9年度 教育条件整備要望書

= 世田谷区立小学校の教育について望むこと =

【回答の方法】以下の1～2について、各項目につき明記をお願いいたします。2
につきましては、計画されている予定を可能な限り具体的にご回答をお願いいたし
ます。

- 1 区における担当部署
- 2 令和9年度以降の計画

1. 安心・安全な教育環境について

新型コロナウイルス感染症による社会生活への影響を経て、学校生活、教育は大きく変化し、子どもたちの学びも大きく変わる契機となりました。子どもたちの学びを止めることなく、少しでも多くの希望を持って学校生活を送れるよう、新しい学びの構築、環境整備をお願いいたします。

また、昨今の異常気象により甚大な災害が頻発するとともに、日常的な気象環境も大きく変化しています。こうした状況を踏まえ子どもたちの安心・安全な教育環境の中で学校生活を送れるよう、迅速かつ適切な対応をよろしくお願いします。

特に世小Pでは、ICT環境の整備・学校施設・設備関連の充実、警備体制の強化について早急な改善および継続を望みます。複数年にわたる継続事項につきましては、これまでの検討状況に加え事業実施に向けた今後の見通しや課題、具体的な進捗状況についてもご回答をお願いいたします。

1-1 ICT環境の導入後の整備

【継続要望】

31校要望

児童の身体的負担を軽減するためiPadおよび周辺機器等の軽量化については引き続き検討をお願いするとともに、端末やキーボード、キーボードケースの端子不具合等により学習活動に支障が生じることのないよう、不具合への速やかな対応、修理手配および修理期間中の代替機を速やかに貸与できる体制の整備をお願いします。

さらに、ICT支援員の配置が月3～4回程度であることから、端末のトラブルやメンテナンスへの対応が十分に行えない状況も見受けられます。学校現場の実情に応じて、ICT支援員の配置回数や支援体制の拡充をお願いします。

学習目的に沿った利用のルール明確化、家庭での管理、持ち帰りの運用の見直しなど学校と家庭が共通の認識をもって運用できる体制の構築、併せて台風などの災害時におけるオンライン学習を行える仕組みの整備をお願いします。

また、ネットリテラシー教育については、現在の年1～2回程度の実施から複数回へ拡充するなど、児童の発達段階に応じた継続的な学習機会の充実をお願いします。また、デジタルシチズンシップ教育については、指導方針や利用ルールを学校と家庭で共有し、連携しながら、児童自身がICTを適切かつ安全に利用するために考え、判断できる力を育む取り組みの充実をお願いします。

- ・iPad、周辺機器の軽量化（経堂、桜丘、旭、下北沢、松沢、山野、明正、玉川）
- ・iPad学習外の利用制限など利用ルールの明確化（千歳、松沢、代田、明正、玉川）
- ・iPadの保管庫管理・校内充電の仕組み改善（船橋、下北沢、松沢）
- ・iPadの不具合・破損時における早期対応（経堂、船橋、山野）
- ・iPadの持ち帰りの仕組みの見直し（下北沢、山野）
- ・災害時のオンライン学習の推進（千歳、松沢、城山、山野、明正）
- ・ネットリテラシー・デジタルシチズンシップの拡充（代田）
- ・授業を休んだ場合の授業のアーカイブ配信（船橋）
- ・学習能力低下の懸念があるため紙教材との併用方針の明確化（船橋、代田）
- ・ICT支援員の増員もしくは配置回数の引き上げ（城山、玉川）
- ・iPadのフィルム等破損を防止するための備品配布（旭）

1-2 みんなで使えるジェンダーレストイレの設置とトイレ対策【継続要望】

26校要望

校舎内外や体育館、プール周辺等のトイレについて設備の老朽化への対応および和式便器の洋式化をさらに進めるとともに、利用状況に応じたトイレの増設など計画的な整備をお願いします。

現在、和式トイレの利用に慣れていない児童も多く、洋式トイレに利用が集中する状況や、設備の老朽化による臭いや汚れなど、衛生面での課題も挙げられています。児童が日常的に安心して利用できるよう、トイレ環境の改善をお願いします。

また、災害時には学校が地域の避難所として利用されることも踏まえ、有事の際にも年齢や性別等を問わず誰もが安心して利用できるトイレ環境の整備をお願いします。

併せて、SDGs目標5に掲げられているジェンダー平等の実現や、多様な児童・避難者が安心して利用できる環境づくりの観点から、プライバシーに配慮したトイレやジェンダーレストイレ等についても、各学校の施設状況等を踏まえながら、整備を進めていただくようお願いします。

- ・和式便器から洋式便器に改修希望(松沢、三軒茶屋、旭、経堂、玉川)
- ・校舎内、体育館、プール等のトイレが老朽化しているため改装希望(烏山)
- ・男女別の更衣室を設置してほしい(船橋)
- ・トイレ便器が少ない箇所に増設(烏山)

1-3 校内での感染症対策

【継続要望】

19校要望

多くの児童が集団生活を送る学校においては感染症対策を継続的に講じることが重要です。

酷暑期における水分補給について水道水の使用が制限される中、冷水器の設置が十分でない学校や児童数に対して設置台数が少なく必要な児童が利用しにくい状況も見受けられます。熱中症対策の観点からも児童数や利用状況に応じた冷水器の適切な設置・増設をお願いします。

また、学校生活中に嘔吐等が発生した際、担任等が対応する場合においても迅速かつ衛生的に処理し児童や教員への二次感染を防止できるよう、嘔吐物処理キットを各校で必要数常備するなど適切に対応できる環境の整備をお願いします。

併せて昨年度、一昨年から継続して要望している自動水栓およびオートソープディスペンサー設置について現在の整備状況および今後の整備方針・予定をお示しください。

1-4 校舎・体育館・校庭の改築・修繕

【継続要望】

41校要望

児童が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、校舎・体育館・校庭等の学校施設について、老朽化の状況や児童数・学級数、各校の利用状況を踏まえた計画的な改修・整備をお願いします。

学校によっては、校舎や各種設備の老朽化が進み、安全面への懸念が生じているほか、外壁の亀裂、局地的な豪雨等による雨漏りや雨水の浸入、各所の配管等からの悪臭など、教育環境や衛生面に支障をきたす事例が発生しています。また、不具合が確認されてから改善までに長期間を要するケースもあることから、児童の安全確保を最優先とし必要な修繕・改修について迅速な対応をお願いします。

併せて、誰もが安全かつ円滑に学校施設を利用できるようバリアフリー化の観点からエレベーターの設置等を進めるとともに、火災や地震、風水害等の発生を想定した避難経路の確保、防災設備・機器の整備および機能強化をお願いします。

特に、長期間にわたり建替えや大規模改修が行われていない校舎・体育館については、施設の老朽化状況や安全性、各校の実情等を踏まえて優先順位を明確にし、建替えを含めた計画的かつ着実な整備を進めていただくようお願いします。

- ・ゲリラ豪雨による昇降口の浸水被害や校舎内の雨漏り改善(奥沢)
- ・校舎の大規模修繕及び早期建替(経堂、玉川、九品仏)
- ・熱中症対策(昇降口等に冷風ミスト、必要箇所にエアコン増設、シェード等の日陰)
(経堂、松沢、松原、三軒茶屋、船橋、桜、下北沢、世田谷、千歳台)
- ・砂埃がひどくスプリンクラーの設置希望(代田、旭、三軒茶屋)
- ・体育倉庫、トイレ等の増築、改築(桜、松丘、玉川、代田)
- ・机、椅子、黒板、教材、音響設備、遊具、備品保管庫等の老朽化が目立つ(池尻、松丘)
- ・理科室、図工室、家庭科室の環境改善(代田、給田、池尻)
- ・校庭の土の入れ替え(多摩川からの風が強く校庭の土が舞い上がる)(玉堤)
- ・校庭を約5年前に全面改修を行ったにもかかわらず、現在も部分的な劣化が進んでる(駒沢)
- ・使用していない施設(プール、飼育小屋、遊具)の撤去(世田谷、九品仏)
- ・車椅子使用や怪我人等が利用できるエレベーターの設置希望(玉堤、代田)
- ・老朽化している学校設備の安全点検の精度向上(東玉川、九品仏、駒沢)
- ・安全な避難経路の確保(三軒茶屋)
- ・現状凹凸や段差が目立つため、怪我防止のための犬走の整備(弦巻)
- ・設備修繕費の必要に応じた増額(烏山、九品仏)
- ・設備の破損や不具合が修繕されず長期放置されている(下北沢、三軒茶屋)

1-5 プールにおける熱中症対策、低体温対策など

【継続要望】

43校要望

近年の猛暑や天候変化により、暑さ指数や気温・水温の上昇を理由に水泳授業が中止となる日が増えています。限られた授業時間の中で必要な水泳授業の実施機会を確保できるよう、プールサイドや待機場所への日よけ設備の設置・増設など、各校の状況に応じた熱中症対策をお願いします。

また、低温時の冷水シャワー等による身体への負担や低体温症への対策として、温水シャワーの設置等についても整備をお願いします。

併せて、補助員等の人員確保やプールの衛生管理を進めるとともに、近隣の区立・民間施設等の屋内プールの活用も含め、天候に左右されず、安全に水泳授業を実施できる環境づくりをお願いします。

- ・プールの日除けの新設及び増設(山野、城山、松沢、松原、三軒茶屋、弦巻、武蔵丘、下北沢
旭、経堂、駒沢、瀬田、桜丘、喜多見、若林、桜、上北沢)
- ・プール敷地外に対して目隠し設置(三軒茶屋)
- ・温水シャワー設置(三軒茶屋、烏山、武蔵丘、経堂、塚戸、玉川)
- ・近隣屋内プールで授業実施(武蔵丘、中町)
- ・日除け TENT を設置(烏山)

- ・プールの水温管理(温水など)(船橋、山野)
- ・プールに虫や鳥の死骸などが浮いていることがあり衛生管理の徹底(経堂)
- ・猛暑で水泳授業中止が多発しており授業確保対策が必要(太子堂、喜多見、明正、代田)
- ・プール施設の老朽化(壁の劣化、プールサイドのひび割れ)に伴う安全確保(三軒茶屋)

1-6 警備員の配置と児童の安全確保

【継続要望】

38校要望

児童が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、現在半日配置となっている学校を含め、警備員の終日配置や学校行事等における警備体制の強化をお願いします。特に、警備員の常駐配置をはじめ、児童の安全に直接関わる対策については優先的な予算措置をお願いします。

また、不審者の侵入防止や来校者管理を徹底するため、防犯カメラの増設、校門のオートロック・電子錠化、インターホンや入校認証システムの導入など、各校の状況に応じたセキュリティ対策を進めていただきたいと考えております。

併せて、交通量の多い交差点や通学路等における登下校時の見守りについて、PTAや地域ボランティアだけに依存することなく見守り員等の配置を含めた継続可能な体制を構築し、学校内外における児童の安全確保をお願いします。

- ・学校内外に監視カメラの設置・増設(明正、弦巻、武蔵丘、船橋、千歳、中町)
- ・門扉の開錠システム強化(オートロック、電子錠設置等)(多摩川、明正、代田、弦巻)
- ・警備員の一日常駐及び増員(山野、明正、玉川、代田、弦巻、船橋、山崎、千歳、松沢、千歳台、代沢、下北沢、祖師谷)
- ・電子錠等入校システムの導入(城山、代田、経堂)
- ・通学路の要所に見守り要員配置(武蔵丘、下北沢、船橋、芦花)
- ・避難経路の整備(避難具の点検、交換、修繕)(弦巻)

2. 学校教育の充実について

子どもたちの基礎学力の向上を図るためには、学校間で教育環境や学習機会に格差が生じることなく、児童一人ひとりの発達段階に応じて学習の基礎・基本を確実に身につけられる教育を推進することが重要です。そのため、以下のことを要望します。

2-1 学校図書室の充実

【継続要望】

21校要望

ICT教育が進む中においても児童が活字に触れ、読書習慣や自ら調べ学ぶ力を身につける場として学校図書室の充実をお願いします。児童数の増加等による図書室の縮小にも配慮し、必要なスペースの確保や蔵書の充実、時代に応じた書籍の更新をお願いします。

また、図書担当者や地域人材等を活用した運営体制を整え、平日の開室時間の拡大や放課後・長期休業中の開室を進めるとともに、電子書籍の導入や蔵書のデータベース化など児童がより本に親しみやすい環境整備をお願いします。

40校要望

児童一人ひとりの発達や学習状況、多様なニーズに応じたきめ細かな指導を行うため教員不足への長期的な対策を進めるとともに、副担任・複数担任制の充実、専科教員、インクルーシブ支援員、授業補助員等の増員など十分な人的配置をお願いします。

また、児童数の多い学級における少人数学級の推進や専門性を活かした教科指導、外国語教育等の充実を図り複数の教職員で児童を支える体制を整えてください。併せて、事務スタッフ等の人的支援を充実させ教員が児童と向き合う時間を確保することで、教職員の負担軽減と教育の質の向上につながる体制づくりをお願いします。

- ・副担任制の導入(池之上、城山、喜多見、桜町、武蔵丘、山崎、経堂、船橋、烏山、松沢、玉川)
- ・専科教員、インクルーシブ支援員の増員(城山、烏山、玉川、祖師谷)
- ・フォロー、サポートに入れる教員の増員(松沢、船橋、経堂、希望丘、池之上、明正)
- ・クラスの少人数制35人以下の学級(下北沢、経堂)
- ・包括支援員等の導入による担任の負担軽減(経堂)
- ・個性に合わせた、きめ細かい学習支援を希望(中里)
- ・児童一人ひとりに細かく対応できる指導するため教員を増員(武蔵丘、下北沢、芦花)
- ・教員負担を軽減するため保護者から教員への過度な要望を制限するルールの策定(経堂)
- ・学級経営や指導に課題がある教員への見守りとサポート体制の強化(経堂)

30校要望

児童が英語を身近に感じ、実践的なコミュニケーション能力を身につけられるよう、オンライン英会話の実施回数の増加やALT(外国人指導助手)・専任教員の配置拡充など、ネイティブの英語に直接触れる機会の充実をお願いします。

また、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく育成し、中学校での英語学習へ円滑につながるよう、基礎的な学習を段階的に取り入れるとともに、習熟度に応じた少人数・レベル別指導についても検討をお願いします。ICTも効果的に活用しながら、対面での交流や体験活動を取り入れ、児童が楽しみながら実践的な英語力を身につけられる教育の充実をお願いします。

- ・ネイティブ講師による授業の実施(経堂、明正、玉川)
- ・レベル別の授業実施(松沢、経堂、船橋)
- ・授業の増加(船橋、武蔵丘)
- ・オンライン英会話授業の増加(代沢、八幡山)

27校要望

児童や保護者からの相談ニーズが増加する中スクールカウンセラーの勤務日数が限られているため、予約が取りづらく必要な時に相談できない状況が生じています。悩みやトラブルの早期把

握・早期対応につなげるため、勤務日数の増加や常駐化など配置体制の充実をお願いします。

また、児童や保護者が必要な時に安心して相談でき継続的な支援を受けられるよう、オンライン相談の活用も含め相談しやすい環境と体制の整備をお願いします。

3. 特別支援教育に関する充実について

特別支援教育推進にあたり、配慮を要する児童の学校生活と地域生活支援の充実を図るため、以下を要望します。

3-1 特別支援学級の設置校の増設

【継続要望】

23校要望

支援を必要とする児童が一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を身近な地域で受けられるよう、特別支援学級の設置校のさらなる拡充をお願いします。

また、特別支援学級の設置状況により学区外の学校へ通学せざるを得ない児童や家庭の負担を軽減するため、引き続き改定「世田谷区小・中学校特別支援学級等整備計画」に基づき、計画的な整備をお願いします。

3-2 通常学級での学校支援員の増員など、人的支援の充実【継続要望】

41校要望

通常学級においても特性や学習・生活面などで個別の配慮や支援を必要とする児童が増えており、担任一人では十分な対応が難しく学級運営や他の児童への指導にも影響が生じているとの声が多く寄せられています。

すべての児童が安心して学べる環境を確保するため学校支援員、インクルーシブ支援員、エデュケーション・アシスタント等を増員するとともに学校単位の一律的な配置ではなく、児童数や学級数、支援を必要とする児童の状況など各校の実情に応じた柔軟な人員配置をお願いします。

併せて、専門性を有する人材の確保や新任教員への支援、突発的な教員の欠員にも対応できる体制を整備し、児童へのきめ細かな支援と教職員の負担軽減・働き方改革につながる人的支援体制のさらなる充実を要望します。

3-3 「共に学び合う」環境づくりへ

【継続要望】

28校要望

発達特性の有無にかかわらず、すべての児童が互いを尊重し、安心して共に学べる教育環境の整備をお願いします。

交流級については、児童一人ひとりの状況に応じて交流や共同学習の機会が十分に確保されるよう、基準や運用のあり方を検討するとともに、多様な特性や学び方に対応できる机・椅子等の設備や学習環境の整備をお願いします。

また、教室に入りづらい児童が安心して学習やクールダウンができる「校内ほっとルーム」等の居場所を充実させるなど、誰もが自分に合った環境で安心して学び、学校生活を送ることができる環境づくりを要望します。

4. 新BOP/学童について

新BOPにおいては、保護者の就労状況や働き方の変化等により利用する児童数が年々増加しています。今後も児童が放課後を安全・安心に過ごせる環境を整えるとともに、小学校との連携や情報共有を図りながら、一人ひとりの児童の成長を見守ることのできる体制の充実をお願いいたします。

4-1 職員増員と施設の拡大

【継続要望】

34校要望

新BOP・学童において利用児童数の増加により施設の狭隘化や過密化が進み、長期休暇中の利用時間が制限されるなど児童が安心・安全に過ごすための環境が十分に確保されていないとの声が寄せられています。

児童数や利用状況に応じた職員・指導員の増員、新BOP室の増設や活動スペースの拡充など人的・施設面のさらなる充実をお願いします。

併せて、共働き家庭の増加等を踏まえ学童の対象学年の拡大やBOPの利用時間を含め、高学年も含むすべての児童が放課後を安心して過ごせる居場所づくりの充実を要望します。

4-2 給食がなく、学童の開室がある際の昼食の提供

【継続要望】

22校要望

給食のない日や長期休業期間における学童・BOP利用児童の昼食について、弁当の提供・注文ができる仕組みの整備・拡充をお願いします。

特に猛暑期において昼食のために一度帰宅し再び学校へ向かうことは熱中症や交通事故等のリスクも懸念されます。学童だけでなくBOPを利用する児童も対象とした昼食提供の仕組みを整え、とともに、家庭から持参する弁当についても冷蔵設備の設置など安全・衛生的に保管できる環境の整備を要望します。

4-3 早期開室及び延長開室の拡大、その他

【継続要望】

20校要望

働き方が多様化しており保護者においては学童利用者だけでなく、BOP利用者についても多角的な対応が必要となっています。

保護者の就労状況等により、児童が一人で登校準備や戸締まりを行ったり、早い時間に登校して校門・昇降口前で待ったりする状況があり、安全面や猛暑時の熱中症等が懸念されています。

学童の一日育成日を含め年間を通じた早朝からの児童の受け入れや延長開室など、保護者の就労実態に応じた柔軟な受け入れ体制の拡充をお願いします。併せて、放課後に児童が安全に過ごし、体を動かすことのできる場として平日の校庭開放のさらなる充実を要望します。

5. 通学路・学区の見直しについて

25校要望

地域によって児童数や世帯数に偏りが生じており、学級数の減少や通学路の見守り活動への影響、指定校より近い学校があっても通学できないなどの声が寄せられています。

将来的な児童数・世帯数の推移を踏まえ、学校間の児童数の偏りや通学距離、安全性等を総合的に考慮した学区域の見直しをお願いします。併せて、地域や各家庭の実情に応じて指定校変更や区域外就学等について柔軟に対応できる仕組みの充実に要望します

6. その他

6-1 物価高騰のため増額している6年生の「日光林間学園」の費用補助

【継続要望】

38校要望

物価高騰等の影響により、6年生の日光林間学園の宿泊費や交通費等が年々上昇し、参加費が高額となっていることから、保護者の経済的負担が大きくなっています。

宿泊行事による体験学習は、児童にとって貴重な学びの機会であることから、家庭の経済状況にかかわらず、すべての児童が安心して参加できるよう、参加費の一定額またはバス代等の交通費への公費補助など、保護者負担の軽減をお願いします。

また、前年度から継続して要望している事項であることから、支援策の検討・見直しの進捗状況についてもお示しいただくようお願いします。

- ・一定金額の補助、バス代の補助(明正、赤堤、太子堂)
- ・何らかの費用の補助(山野、経堂、笹原、旭)

6-2 家庭の事情等で早朝に登校する児童の居場所確保 【継続要望】

26校要望

保護者の就労等の家庭事情により、児童が一人で戸締まりをして登校したり、登校時間前に学校周辺で待機したりするケースがあり、安全面が懸念されています。

家庭の事情等により早朝に登校する児童が安心して過ごせるよう、図書室等の校内施設の活用を含め、学校だけでなく新BOPや保護者・地域等とも連携した、安全な居場所と見守り体制の整

備を要望します。

- ・朝早い時間に昇降口前に待機するケースがあり室内に入れてほしい(山野)
- ・登校時間前に到着した児童の居場所づくり(船橋)

6-3 PTAで利用可能になるように、すぐーるの機能追加 【継続要望】

20校要望

学校・PTAからの連絡手段が複数のツールに分かれていることで、保護者の情報確認やPTA活動における連絡先の収集・情報発信に負担が生じています。

学校関連の情報を「すぐーる」に一元化するとともに、PTAからも保護者へ必要な情報を配信できる機能の追加や、複数の保護者が確実に情報を受け取れる仕組みの整備をお願いします。

併せて、各種提出物や出欠確認等についてもオンライン化を進め、学校・保護者・PTA双方の負担軽減につながるデジタル環境の整備を要望します。

6-4 小学校全体の熱中症対策 【継続要望】

34校要望

近年の猛暑により学校生活における熱中症のリスクが一層高まっています。児童の健康と生命を守るため教職員個々の判断だけに委ねることなく、専門的な知見を踏まえ空調の使用、水分補給、屋外活動の実施・中止等について学校全体で適切に対応できる統一した基準の整備をお願いします。

併せて、空調設備や冷房を備えた運動施設の充実、校庭へのミスト設備、冷水機の増設・適切な維持管理、遮熱対策など各校の状況に応じた設備整備を進めるとともに、児童への熱中症や紫外線対策に関する啓発・教育の充実を要望します。

6-5 その他 【新規要望】

- ・学校改築等に伴う代替グラウンドの優先確保(砧)
- ・物価高騰により消耗品、劣化した備品等の購入数が減っているため購入予算の増額(烏山)

以上、区内61校すべての子どもたちが確かな学力を身につけ、心身ともに健やかに成長できるよう必要な教育を格差なく受けられることを願います。

そのためにもすべての子どもたちが安心して学び、成長できる教育環境の整備とその実現に必要な教育予算の確保を強く要望いたします。

今後とも、子どもたちのより良い教育環境の実現に向け、継続的かつ力強いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。